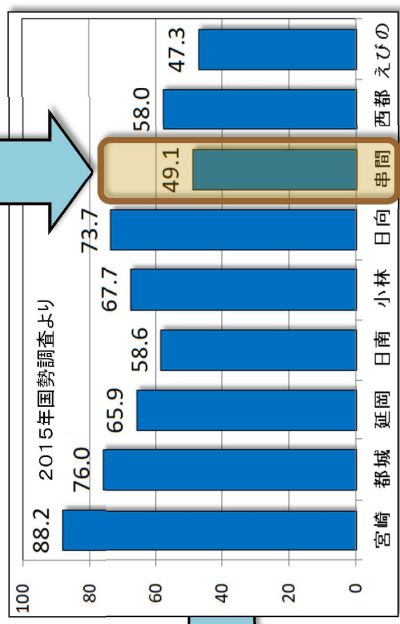
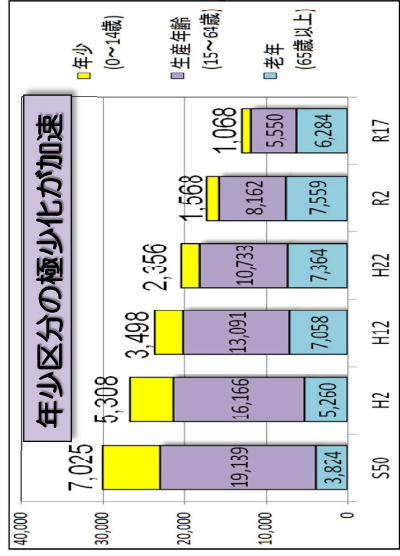
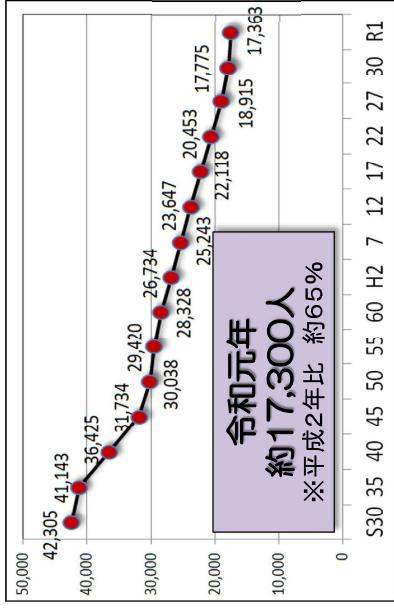


I 「くしま学」改訂の背景

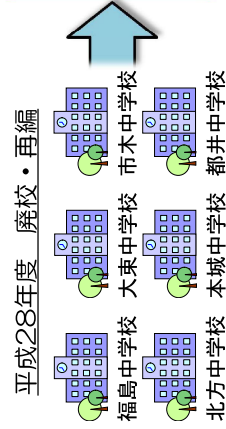
1 串間市の人口推移等



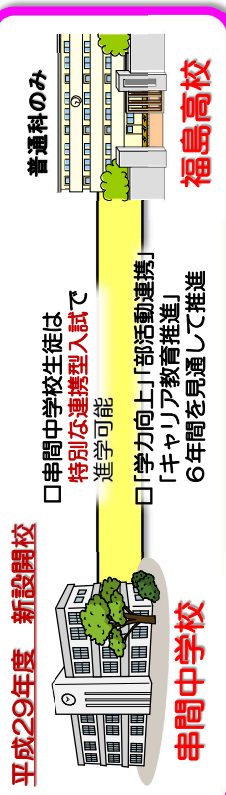
串間市の区分人口の推移

I 「くしま学」改訂の背景

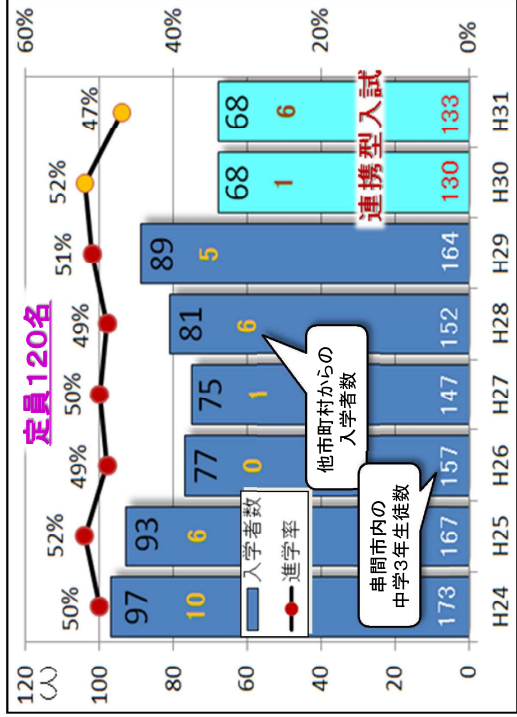
2 串間市の学校教育の現状



県内唯一の「連携型中高一貫教育校」(平成29年度~)



福島高校への入学者数及び申間市立中学校からの進学率の推移



串間市の未来の姿に大きく影響する問題

■ 人口減少に拍車 ■ 経済・観光の疲弊 ■ サービス減退 等

I 「くしま学」改訂の背景

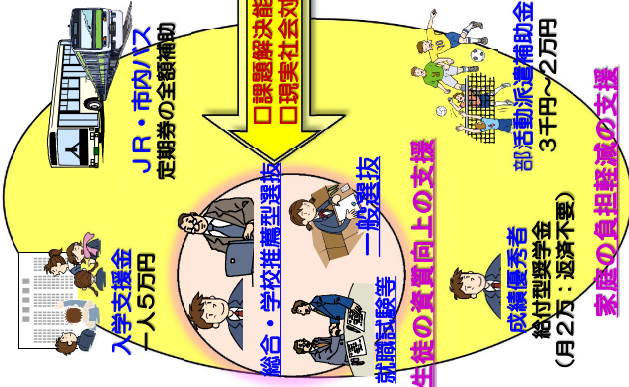
3 串間市の福島高校支援

魅力 = 就職・進学に強い学校

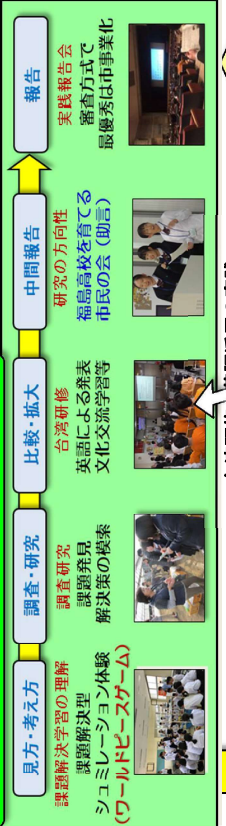
串間中学校
入学者81名以上を目指して!

福島高校

串間の課題解決や活性化を調査研究する
【地域創生学の充実】への支援



地域創生学「学びのプロセス」の支援



台湾研修で英語活用の実践 (※試合の場)

串間市公営塾
英語の4技能に特化 (福島高校1～3年対象)

□大学入学共通テスト対応
□就職に生かす英検取得

地域創生学「学びのフィールド」の支援



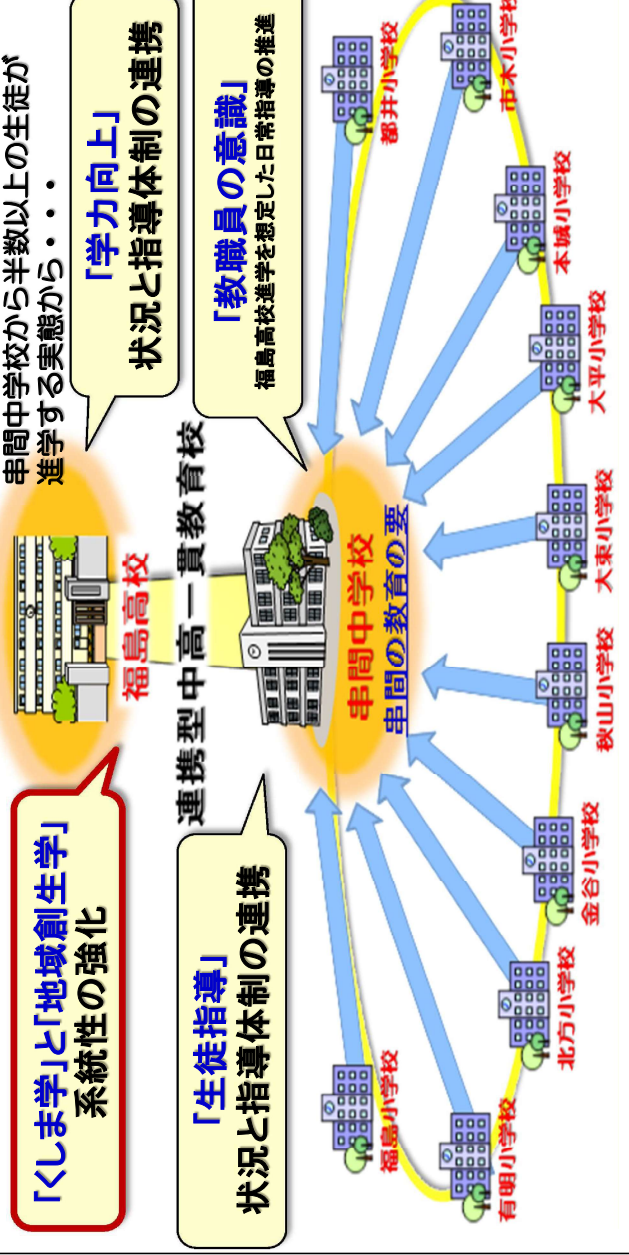
学びの
人・場・情報
を提供

I 「くしま学」改訂の背景

3 串間市の福島高校支援

- 平成21年度から小中高一貫教育を推進
 - 小中高一貫教育研修会
 - 授業力向上研修会
- 平成29年度の串間中学校開校による小中高一貫教育のさらなる強化・推進へ

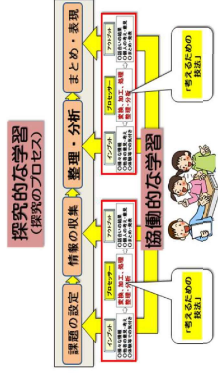
「串間の教育は福島高校で完結する！」



I 「くしま学」改訂の背景

3 串間市の福島高校支援

【探究的な学習の徹底】



【単元内容】

- 串間市の課題解決
- 串間市の活性化



福島高校

質の向上のために

地域創生学



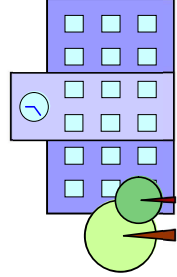
令和2年4月
スタート!

くしま学Ⅱ

串間市教育研究所

「くしま学」の改善

- 地域創生学からの逆算の視点で
- 育成資質、指導方法、単元内容の改善
- 社会に開かれた教育課程編製の核として設定



10小学校

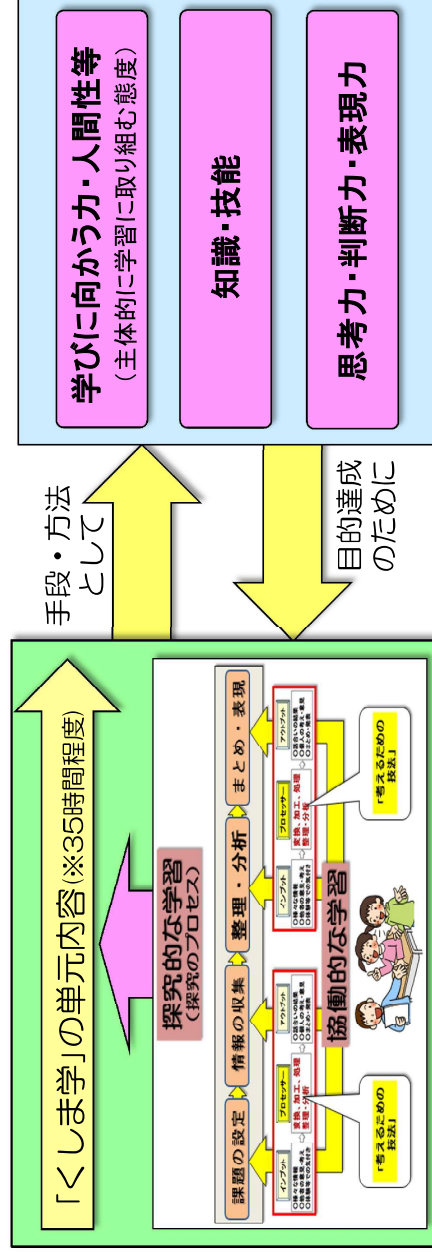
くしま学Ⅰ

教師用指導手引き書を作成する

II 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習（探究プロセス）の徹底

単元内容について「探究的な学習」を通して、新学習指導要領で育成すべき三つの資質・能力を育成することを目的とする。



【改訂の視点】

- 探究的な学習（探究プロセス）の確認と留意事項等の共通理解
- 探究的な学習をベースとした単元内容の改訂

○ 地域創生学からの逆算 ○ 串間の課題解決、活性化 ○ 串間の大人を教材に

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習(探究プロセス)の徹底

(1) 課題の設定【重要】

ポイント：探究するに値するものであるか

【課題設定の視点】

実社会や生活の中で起きている事象

- 「本来はどうあるべきか？ しかし、現状は…」
- アメリカは～だが、日本は～だ。(空間)
 - 以前は～だったが、現在は～だ。(時間)
 - 世の中では当然とされているが、実際はどうなのか？(違和感)

その上で

疑問型をもとにした課題設定の方法

共通テーマの設定(「地域の安全」「町の活性化」等)

Why(なぜ?)、How(どのように?)

- 仮定 (もし～が理由ならどうなるか・なったか)
- 現在・過去 (なぜ～なのだろう・～したのでらう)
- 意図 (なぜ～したかったのだろうか)

探究1

例：「以前は、日本有数の茶栽培地だったが、現在は〇〇のベトナムだ。」

その上で

- 「なぜ、全国でも有数の栽培農家が減っていることになったのだろうか？」
- 「なぜ、茶栽培農家が減っている中で3軒の農家は続いているのだろうか？」

探究のスパイラル

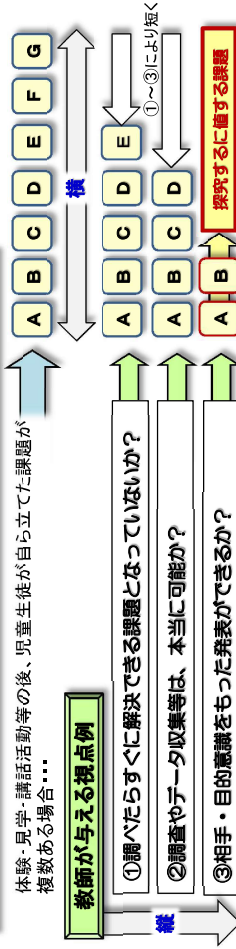
「3軒の農家が守るおいしいお茶をどのようにPRすればよいだろう？」

【課題設定の留意点】

縦によって、横を短くする(放任 → 指導・支援へ)

教師が与える視点例

体験・見学・講話活動等の後、児童生徒が自ら立てた課題が複数ある場合…



【教師の役割として】

- 課題の質をあげるための視点提示
- 課題の質が深まるような体験・見学・講義活動等の設定
- 探究する目的と最終的にどの相手にどのように表現するかをイメージさせる

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習(探究プロセス)の徹底

(2) 情報の収集

ポイント：課題に対する教師のゴールイメージ

【情報収集の視点】

情報収集能力の育成を図るために…

「整理・分析」「まとめ・表現」の段階をイメージさせる(逆算思考)

- 「まとめ・表現」段階で、どのような資料、データ等を活用するのか？
- 「整理・分析」段階で、根拠を明確にして結論を導いていくために、どのような資料、データが必要となるか？
- 資料、データ等を協議資料として作成するには、どのように情報収集すればよいか？

設定した課題から適した情報収集の方法を選択

- アンケート？ インタビュー？ 図書資料？ 体験活動？ 観察・実験？ インターネット？
- どの対象にアンケート、インタビュー等をすることが適切であるかを助言

【情報収集の留意事項】

体験活動だけでは情報を得ることは困難

(※) 体験活動時は感動と興奮の状態のため)



可能ならばビデオ・写真撮影の許可をもらって活用

- 整理・分析、まとめ・発表の資料としても活用

【教師の役割として】

体験活動後に動画を活用して情報を収集させていく等の工夫が必要



【教師の役割として】

課題の解決イメージをもってどのような方法で、どのような情報が必要であるかを助言

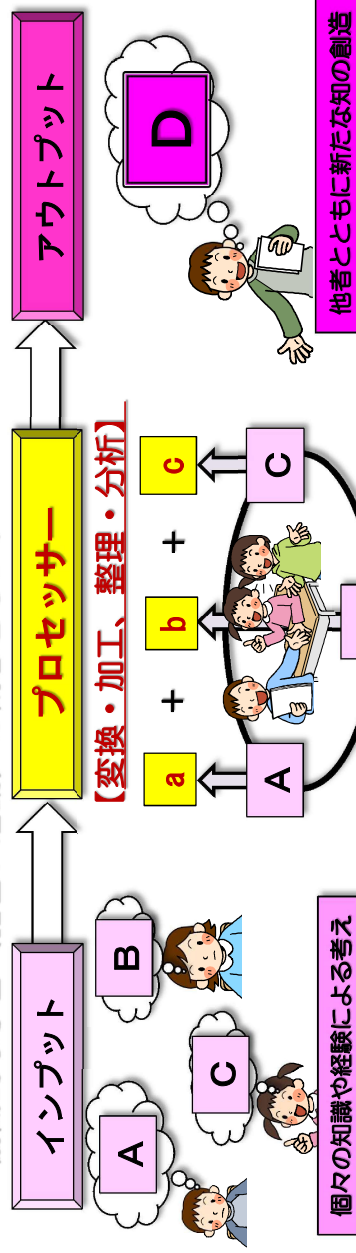


Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習（探究プロセス）の徹底

〔3〕 整理・分析①【最重要】 ポイント：協働的な学習により思考スキルを高める

〔整理・分析の視点〕（※教師が指導前に理解しておくこと）
協働的な学習（話し合い活動）の概念をもつ！



「考えるための技法」の理解と活用

【教師の役割として】

例えば整理・分析段階で育成する思考スキルと児童生徒への助言について概要を把握し、積極的な助言に努める。また、思考スキル育成に**思考ツールが有効**であるので**プロセッサー段階での活用も**考えていく。

思考スキル	教師の助言例
比較	<input type="checkbox"/> ~と~を比べると <input type="checkbox"/> 同じところ、違うところは
分類	<input type="checkbox"/> 同じ仲間に分けると <input type="checkbox"/> まとめると
多面的	<input type="checkbox"/> 違う立場で見ると <input type="checkbox"/> 立場を変えてみると
関連付け	<input type="checkbox"/> これまで学習してきたことや知っていることとのつながりは
順序立て	<input type="checkbox"/> 何から順番に <input type="checkbox"/> 優先されることは
焦点化	<input type="checkbox"/> 1つに決めると <input type="checkbox"/> 重要なことは何か
構造化	<input type="checkbox"/> つながりをまとめると (図や様々な形を活用して)

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習（探究プロセス）の徹底

(3) 整理・分析②【最重要】

ポイント：この段階での活動の見通しを伝える

「整理・分析」段階の主な活動の流れを児童生徒に事前に伝える



Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習（探究プロセス）の徹底

(4) まとめ・表現

ポイント：表現の目的と相手意識の理解と個人的振り返り

まとめ方、発表の仕方は目的・相手意識を

- 何を目的に学習してきたのか
- どのようにまとめれば伝わるか
- どのような発表方法であれば、相手に伝わるか
- 何のために、相手に伝えなければいけないのか

【まとめの方法】

- プレゼンテーション □ 新聞、パンフレット、ポスター等

【表現の方法】

- 制作物でのグループ・全体での発表 □ パネルディスカッション
- シンポジウム □ 保護者や地域住民への報告会 等

個人の学習の振り返りを大切に

単元・1 単位時間・各プロセスで振り返る機会を設定

- 「達成できたことは何か」
- 「解決できなかったことは何か」
- 「このテーマについては、別の課題もあるのではないか」

「文字に刻む」振り返りを徹底

音声言語によるインタラクション（相互交流）

＋ 文字言語によるリフレクション（振り返り）

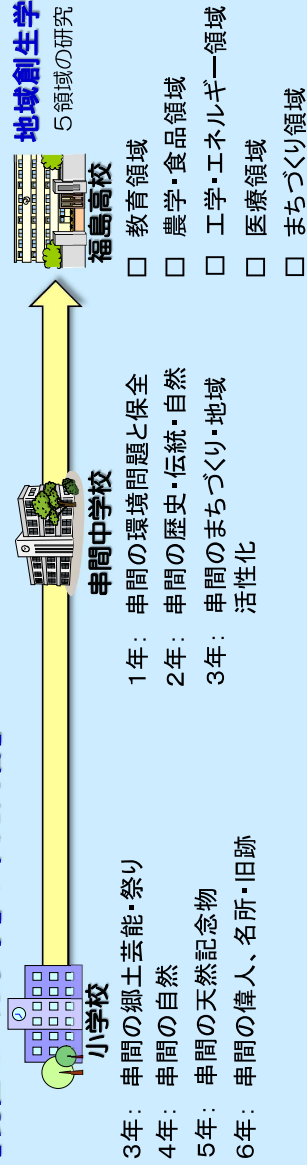
音声言語は広がりがあるが消えてしまつたため、自分の活動してきたことを文字言語で刻む「振り返り」を！

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

1 探究的な学習(探究プロセス)をベースとした単元内容の改訂

【現在の「くしま学」の単元内容】

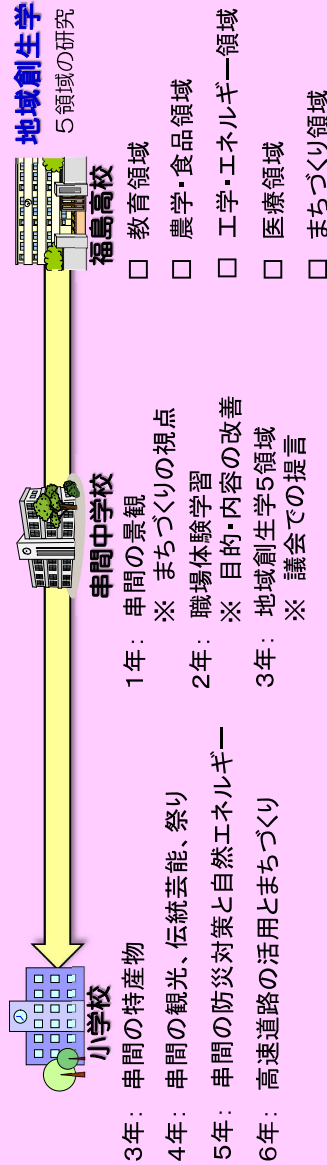
小学校から高校への発展的な視点で構成



令和2年度より

【改訂「くしま学」の単元内容】

- 高校から小学校へ逆算的な視点で構成
- 串間の課題解決、活性化等をテーマに調査研究



Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

2 「くしま学」単元の指導概要 □ 第6学年「串間市活性化のために」(※35時間)

(1) 課題の設定①

【人口の推移】

年	人口
昭和35年	42,350
昭和40年	41,143
昭和45年	39,025
昭和50年	37,174
昭和55年	35,020
昭和60年	33,325
昭和65年	31,357
昭和70年	29,420
昭和75年	27,420
昭和80年	25,420
昭和85年	23,420
昭和90年	21,420
平成5年	19,420
平成10年	17,420
平成15年	15,420
平成20年	13,420
平成25年	11,420
平成30年	9,420
令和5年	7,420
令和10年	5,420
令和15年	3,420
令和20年	1,420
令和25年	0

【観光客の推移】

年	観光客数
H25	280,580
H26	260,345
H27	274,625
H28	251,538
H29	251,538

【観光客の推移】

観光客が増加した所は高速道路が新たに開通した地域だなあ。

人口減少が進んでいるなあ。観光客も年々減少し、約5年間で8千人程減っている。

都井岬等、すばらしい観光地があるのに・・・なぜだろう？

日南と串間を結び高速道路の建設が決定したニューコースがあったわ。

【課題の設定】

探究1 【課題の設定】

串間市を活性化させるためには、高速道路をどのように活用していけばよいのだろうか？

串間市に高速道路がきたら、観光客も増えそうだね。

交通便がよくなるから、串間市に住み続ける人も多くなるかも。

高速道路ができるんだから、串間市にはチャンスだね。

高速道路をどのように活用すればよいかを考えていこう！

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

2 「くしま学」単元の指導概要 □ 第6学年「串間市活性化のために」(※35時間)

(2) 情報の収集①

一般的な高速道路に関する情報の収集(メリット・デメリット)



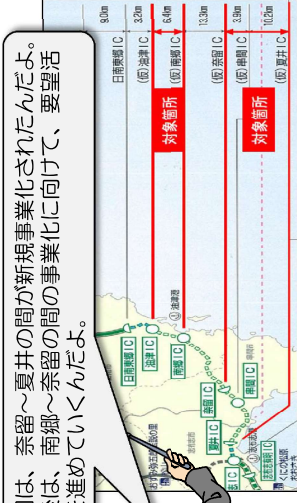
串間市の高速道路建設に関する情報の収集

今回は、奈留～夏井の間が新規事業化されたんだよ。
今後は、南郷～奈留の間の事業化に向けて、要望活動を進めていくんだよ。



串間市

東九州自動車道対策係の職員による講義



高速道路が建設されることについて市民が期待することについてのインタビュー・アンケート調査等



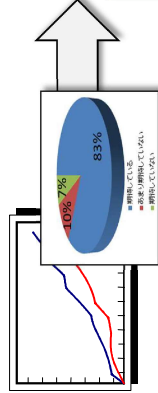
Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

2 「くしま学」単元の指導概要 □ 第6学年「串間市活性化のために」(※35時間)

(3) 整理・分析①

ここからの活動は次のように進めてね。

- ① グラフ等の資料にまとめる
- ② 各班の情報を共有する
- ③ 全体で根拠となる項目を設定する
- ④ ③をもとに各班でIC周辺のまちづくり案を考える。



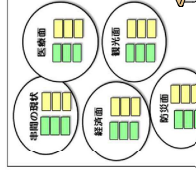
各班が整理した内容を全体で共有(各班が説明)



根拠となる全体での共通項目をもとに、各班の考えやアイデア、提案内容をまとめていく。

【一定の結論】

串間市を活性化させるためには、高速道路のICを中心に訪れる人に串間の魅力をアピールしたり、生活を便利にしたりするような施設があるまちづくりをすればよい。



他班の説明をもとに共通する項目や異なる点等を思考ツール等を活用して抽出



- 串間市に周辺のみならずICを考えたために必要な項目
- 工場などを集めることのできる土地の確保
 - 救急病院
 - 食事ができるお店を複数入れる
 - ※ 串間の観光地や名所の効率的なルート
 - 観光客がくつろげる施設
 - 串間市をPR



各班からの共通する項目や異なる点等を全体で協議し、「まとめ・発表」の根拠となる内容を抽出して共有する

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

2 「くしま学」単元の指導概要

□ 第6学年「単門市活性化のために」(※35時間)

(4) まとめ・表現①

とてもよく考えられたまちなちになったね。特にいい視点は……。この点ももっと……。I C周辺で中心となる施設は何かなあ。

私たちもこの点は少し悩みました。もっと一つの施設に絞って考えた方がいいかなあと……。

今回の学習で、いろいろな人の意見や思いを聞くことの大切さが分かった。

もっと詳しく調べていきなさいなあ。

単元の学びの振り返り

東九州自動車道対策係の職員への発表

単門市
東九州自動車道対策係の職員との意見交流

(5) 課題の設定②

①東九州自動車道対策係の方から、もっと焦点化した方がいいよというアドバイスももらったけれど……。

②それでは、課題2として、どのような道の駅にしていけばよいかを考えてみようか？

①I C周辺の中心施設はやはり道の駅だと思えます。

②市役所や道の駅を運営する方々に発表したいです。

①串間のよさをアピールするために、道の駅について考えていただきたいです。

探究Ⅱ【課題の設定】

高速道路によって串間を訪れた人に、串間のよさをアピールするためには、道の駅をどのように工夫したらよいのだろう？

Ⅱ 「くしま学」改訂の実際

2 「くしま学」単元の指導概要

□ 第6学年「単門市活性化のために」(※35時間)

(6) 情報の収集②

串間の特産をたくさん販売してもらいたいです。観光客もですが、串間の人たちにも親しまれる施設などもあるといいですね。

串間市の道の駅にどのようなことを期待していますか？

道の駅に関するアンケートに御協力ください！

串間の人々へのインタビュー・アンケートの実施

全国の道の駅についての情報
□ 地元のよさのPR方法 □ 工夫した施設等

(7) 整理・分析②

調査結果の整理と分析

期待される施設の種類

- 農産物の特産品をPRするコーナーの設置
- 農産物直売場の設置
- 観光客や地元民の憩いの場
- 農産物の特産品をPRするコーナーの設置
- 小学生が運営する企画も

期待する施設の種類

期待される施設の種類

期待される施設の種類

【共通の結論】串間のよさをアピールするためには、訪れた人々によさが伝わるコーナーやアピールの仕方を工夫すればよい。

(8) まとめ・表現②

串間の特産を使った食事については、皆さんの意見を参考に開発していきたいですね。足湯などもいいですねえ。

コンサートやイベントなども道の駅でどんどんやっていただきたいと思います。小学生が運営する企画も。

串間で生きる一人として、活性化のためにこれからいろいろなことを考え、行動していきたい。

単元の学びの振り返り

単門市役所・運営会社の方々への発表

単門市役所・運営会社の方々との意見交流

単元の学びの振り返り

Ⅲ 「くしま学」の今後

福島高校の魅力づくりの核として



社会に関われた教育課程の核として

教育の力で串間市の課題解決、活性化を図る「地方創生の核」として

【研究同人】

役職	氏名（所属）	役職	氏名（所属）
所長	吉松 俊彦（串間市教育委員会 教育長）	研究員	平屋 智徳（串間市立金谷小学校 教諭）
事務局長	阿部 泰宏（串間市教育委員会 教育指導監）	研究員	真方 悟史（串間市立秋山小学校 教諭）
事務局長	馬場 勇次（串間市教育委員会 指導主事）	研究員	嶽野 直樹（串間市立大束小学校 教諭）
主任研究員	富迫 裕紀子（串間市立都井小学校 教頭）	研究員	池田 美弥子（串間市立大平小学校 教諭）
研究員	日高 茂（串間市立福島小学校 主幹教諭）	研究員	橋谷 敏治（串間市立本城小学校 教諭）
研究員	川内 徳子（串間市立有明小学校 教諭）	研究員	矢野 万里子（串間市立市木小学校 教諭）
研究員	川原 裕一朗（串間市立北方小学校 教諭）	研究員	米原 浩司（串間市立串間中学校 主幹教諭）